JASE
現代性教育研究ジャーナル
MONTHLY JOURNAL of SEX EDUCATION TODAY
2021年 No.123
2021年6月15日（毎月15日）発行
日本性教育協会
THE JAPANESE ASSOCIATION FOR SEX EDUCATION
〒112-0002 東京都文京区小石川2-3-23 春日尚学ビル Tel.03-6801-9307 Mail info_jase@faje.or.jp URL https://www.jase.faje.or.jp 発行人 石川哲也 編集人 中山博邦
© JASE. 2021 All Rights Reserved. 本ホームページに掲載している文章、写真等すべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。

contents

新学習指導要領と「人生を豊かに育む教育」教材の作成 ‥1
いつきの"ヒューマン・ビーイング"③ ‥‥‥‥‥‥7
性教育の現場を訪ねて㊸ ‥‥‥‥‥‥‥‥8
多様な性のゆくえ㊿ ‥‥‥‥‥‥‥‥10
今月のブックガイド ‥‥‥‥‥‥‥‥11
JASEインフォメーション ‥‥‥‥‥‥‥12

新学習指導要領と「人生を豊かに育む教育」教材の作成

東京医療保健大学 医療保健学部教授
住民とともに活動する保健師の会代表　渡會 睦子

はじめに

「学習指導要領」は、およそ10年に1度の周期で改訂されている。学習指導要領には、「学校で学んだことが『生きる力』となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい」という願いが込められている。学習指導要領は読み込むととても温かさを感じる深い内容となっている。

その学習指導要領に沿って「こころ・体の教育」を中心に編成した小学・中学・高等学校用の性教育教材（PowerPoint教材）として、2006年に『生きるための心の教育（性教育）』教材[(1)]を発刊した。2020年は新学習指導要領の改訂に合わせ、より幅広い子どもたちの人生を育んでいく「からだ」「こころ」「性」「生活」「人生」等をキーワードに、『人生を豊かに育む教育』教材（小学校用）[(2)]を作成した（現在は、中学・高等学校用教材を作成しているところである）。

本稿では、学習指導要領の変遷と改訂のポイントを述べるとともに、学習指導要領に沿って作成した「人生を豊かに育む教育」教材について紹介したい。

学習指導要領の変遷

学習指導要領の変遷(抜粋)

「学習指導要領」は1947（昭和22）年文部省により、「学習指導要領一般編（試案）」が制定されたのが始まりである。その後、学校をめぐるさまざまな事件、受験戦争の激化、不登校、校内暴力、学力低下問題、グローバル化や急速な情報化、技術革新など、社会の変化を見据えて、これから生きていくために必要な資質や能力について見直しを繰り返している。

学習指導要領の変遷について、文部科学省のホームページの中の「旧学習指導要領」から時代背景に合わせた変遷、学習への影響を抜粋する（次ページ表1）。

表１　学習指導要領の変遷（年は告示後の実施年度）

1951 年（昭和 26 年）	教科以外の活動（小学校）、特別教育活動（中学校）、体育科は保健体育科、職業科は職業・家庭科に改められた。1953 年（昭和 28 年）までは学習指導要領一般編（試案）という名称であった。
1961 年（昭和 36 年）	系統性を重視したカリキュラムであり、道徳の時間の新設、科学技術教育の向上などで教育課程の基準としての性格の明確化を実現された。中学校の職業・家庭科が技術・家庭科に改められた。
1971 年（昭和 46 年）	現代化カリキュラムといわれる濃密な学習指導要領である。時代の進展に対応した教育内容の導入で教育内容の現代化を実現。アメリカ政府の高度教育を行う「教育内容の現代化運動」の影響で、日本も濃密なカリキュラムを組んだが、ついていくことができない生徒が生まれた反省もあった。
1980 年（昭和 55 年）	ゆとりある充実した学校生活を実現し「第一次ゆとり教育」とも呼ばれ、各教科の指導内容を大幅に精選し授業時間を減らした。1971 年の私立学校はあまり削減を行わなかったので、公立学校との差が付き始め、公立学校の進学実績の低下が明らかになった。
1992 年（平成 4 年）	個性をいかす教育を目指し、教科の学習内容をさらに削減した新学力観が登場した。小学 1・2 年の理科・社会科に代えて生活科の新設、道徳教育の充実などで社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目指した。高等学校では家庭科を男女必修とした。
2002 年（平成 14 年）	「総合的な学習の時間」の新設により、よりよく問題を解決する資質や能力」などの「生きる力」の育成を宣言し、生涯学習社会への移行を促して行った。学校完全週 5 日制が実施された。
2011 年（平成 23 年）	新しい指導要領を「ゆとり」か「詰め込み」かではなく知識、道徳、体力のバランスとれた力である生きる力を育む教育とし、基礎的な知識や技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を強調している。1980 年改訂以来、減り続けてきた授業時間はおよそ 30 年ぶりに増加した。外国語等が増加したが総合的な学習の時間の総授業時間は大幅に削減された。
2018 年（平成 30 年）改正	2015 年（平成 27 年）3 月 27 日、学習指導要領を一部改正し、これまで教科外活動であった小学校・中学校の「道徳」を、「特別の教科 道徳」とし、教科へ格上げした。道徳科に検定教科書が導入され、いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものに改善し、「個性の伸長」「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加した。私立小学校・中学校はこれまで通り「道徳科」に代えて「宗教」を行うことが可能である。
2020 年（令和 2 年）	新学習指導要領知識及び技能の習得と思考力，判断力，表現力等の育成のバランスや道徳教育の充実や体験活動の重視，体育・健康に関する指導の充実により，豊かな心や健やかな体を育成することが重視されている。これらをかなえるためにも「社会に開かれた教育課程」が基盤とされている。小学校の授業時数は 6 年間で「外国語活動」等により 140 コマ増えている。

品川区の特色あるカリキュラムの配置

このような学習指導要領の変遷の中で、東京都品川区では、2006 年に特別教科「市民科」として、道徳の時間、特別活動（学級活動）、総合的な学習の時間を統合し、本来のねらいや内容を関連づけ、『人間形成』を目的に発達段階に応じた系統的な単元として再構成し教科書も作成している[(3)]。地域独自の判断として取り組まれており、性教育も含まれ大変興味深い取り組みとなっている。

これからの社会で生きていく中で役立つ、正しい認知と具体的な行動を身に付けさせる特別教科として、⑴個にかかわる「自己管理」、⑵個と集団・社会をつなぐ「人間関係形成」「自治的活動」、⑶社会にかかわる「文化創造」「将来設計」、の３段階５領域を設定し、「責任遂行能力」、「コミュニケーション能力」、「社会的判断・行動能力」など 15 の能力を身につけさせることを目標にしており、標準授業時数は１～４年生は年間 85 時間（平均週２時間）、５～９年生（品川区では小中一貫で学年を呼称）は 105 時間（平均週３時間）を設けている。

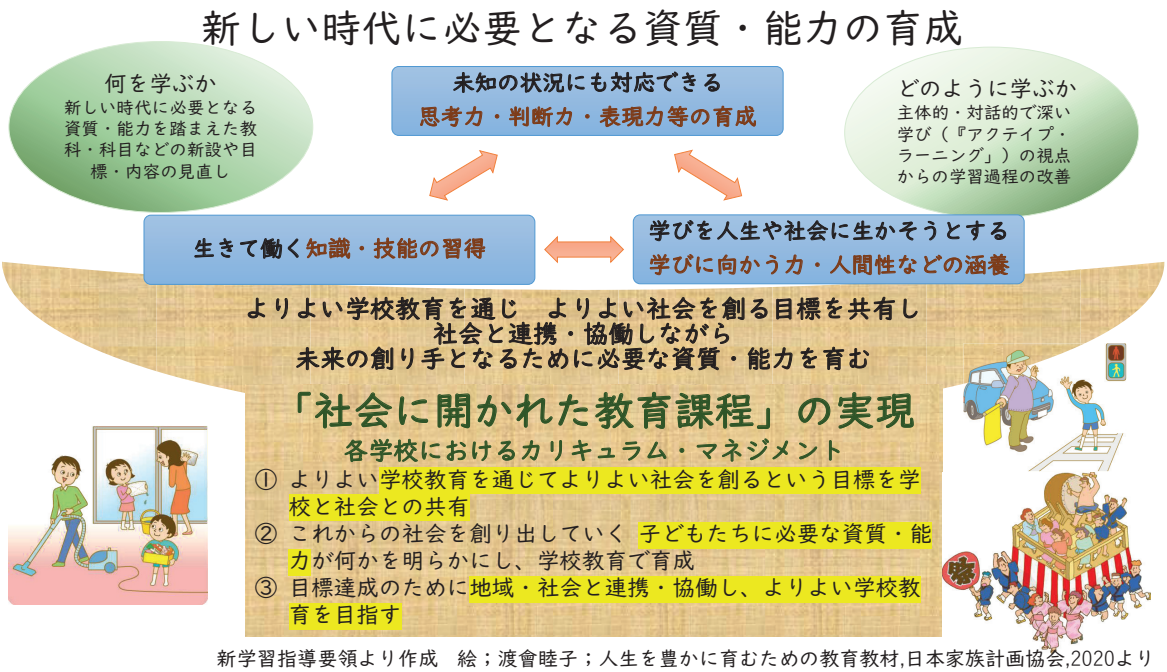
社会に開かれた教育課程、地域との連携・協働は性教育に関連する重要なポイント

2002 年（平成14 年）の「総合的な学習の時間」の新設により、基礎・基本を確実に身に付けさせ、「いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」である「生きる力」を育成することが宣言された。

学習指導要領では、子どもたち一人ひとりの「生きる力」を育成するために、新しい時代に必要となる資質・能力の育成として、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力など」、「学びに向かう力、人間性など」３つの柱を掲げ[(4)] それらを育み支える基盤である地域社会とは連携・協働すべきと掲げ動き始めている。

性教育の変遷や背景、学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」を理解し、「学校は敷居が高い」、「地域は理解してくれない」ではなく、今だからこそ、学校と地域社会が良好な関係を持ちながら連携・協働のきっかけにしたいところである。

図1



新学習指導要領より作成　絵；渡會睦子；人生を豊かに育むための教育教材,日本家族計画協会,2020より

2005年7月の中央教育審議会でも、性教育の具体的留意点[(5)]として、

・教職員の共通理解を図るとともに，児童生徒の発達段階（受容能力）を十分考慮する
・家庭，地域との連携を推進し，保護者や地域の理解を十分に得る
・集団指導の内容と，個別指導の内容の区別を明確にする

などがあげられており、性教育を継続してきた立場としても地域連携に必須となる内容であると感じている。

性教育と学習指導要領

性教育の変遷

日本の学校における性教育は、1949年「純潔教育基本要項」が純潔思想として文部省から発行された。性感染症予防教育は、1970年の中学校学習指導要領指導書保健体育編に「病気とその予防」として「淋病と梅毒の現状を理解させる」とあったが、1978年の改訂で排除されている。

1986年になり『生徒指導における性に関する指導』が文部省から発行され、1992年度から学習指導要領の改訂により理科や保健に性の教育が組み込まれ、1999年度からは「エイズおよび性感染症の予防」がとりあげられ、どの学校においても指導計画が作成された。実際、今も学校保健計画以外に性教育指導計画が多くの小中学校に存在する。

性教育バッシングの変遷

エイズ予防教育が盛んになってくる中、2000年代に入ると性教育バッシングが始まった。

2002年：小学校と中学校に広く配布されていた性教育小冊子副教材『ラブ＆ボディ BOOK』が不適切として国会の審議に取り上げられ、全国各地で同様の問題提起が行われた。結果、『ラブ＆ボディ BOOK』は、学校から回収となった。

2003年：東京都立七生養護学校性教育バッシングで、東京都議会でいくつかの学校の性教育が問題提起され、都教育委員会及び都議会による教材没収、性教育を理由にした七生養護学校の教員を含む100名を超える教員が処分されたが、撤回を求め提訴、その結果、元校長の勝訴が確定したのが2010年、別の裁判で元教員らが勝訴したのは2013年であった。

2018年3月：東京都足立区立中学校の性教育では、保護者からの相談を発端に都議会議員が学習指導要領には記されていない言葉を扱ったことを問題視したが、教育委員会は「授業は地域の実態に即して行われ、生徒と保護者のニーズに合ったものだ。

授業内容をブラッシュアップしつつ性交や避妊は引き続き教えていく。」と返答している。

学習指導要領は、学校において必要であると認められる場合には、学習指導要領に示していない内容でも教育課程を編成、実施することが可能であるため、学習指導要領から逸脱しているわけではない。

しかし、教育現場には、これらの性教育バッシングにより、性教育を行うことに対する恐怖、性教育資料作成の労力や保護者の目に対する心労、性教育の優先性の低さ等が引き起こされ、性教育の停滞に結びついているのが現状である。

山形県における性教育バッシング

2004 年頃、山形県の性教育教材を作成していた筆者も、山形県議会において県職員として処分することを審議に取り上げられた経験がある。

山形県の十代の人工妊娠中絶率は全国３位であり、これらの課題を解決すべく、男女差に対応した、年齢や発達状況に即した適切な教材として『生きるための心の教育（性教育）』教材を作成し、山形県の全中学・高等学校に『性教育の手引き』とともに配布しようとした際に起きたバッシングであった。

しかし、議会で問題として取り上げられた後に、山形県の性教育が停滞はしたが中断することはなかった。山形県教育委員会とともに、それまでの山形県の現状調査や性教育前後分析による説明、心の教育との関連説明、そして、学習指導要領に合わせた改訂をすぐに行うことができたことで乗り越えられたと考えている。また、「性教育が注目されるようになった。性問題低下のきっかけとしてラッキーと思おう」とポジティブに切り替えたことも一つであった。

学校現場が安心して使うことができる教材とは

前述の経験からも、性教育バッシングによって性教育が停滞している現代において、学校現場が安心して教材を気軽に活用し性教育を進めるためには、

①新学習指導要領に沿った内容であること

②性問題予防を目的とするにも、思春期の心・身体の変化、不安や悩みへの対処、人権、性に関する情報等への対処、適切な意志決定や行動選択、望ましい人間関係の育成、人生の計画等と関連させながら考えられた教育内容であること

が、重要であると感じている。学校保健実務必携でも、「性に関する教育の基本的な考え方は、人格の完成を目指している。自分の一生をどう生きるかを考え判断・行動し、様々な人間関係を築きながら生きていく中で人格形成が行われるプロセスは、性の問題に深くかかわる」としている[(6)]。

子どもたちは人格の完成に向け、思春期に深く考えたり、悲しんだり喜んだりし、前頭前野を刺激しながら人を思いやる心等も醸成している。思春期の衝動があるから行動しても仕方ないではなく、その衝動がなぜ起こるのかを教え一緒に考えていくと、子どもたちも自分の思春期を受け止め、楽しみ始める。このように教材は、自分の成長を前向きにとらえていく内容とした。今回の新学習指導要領に合わせた内容であろう。

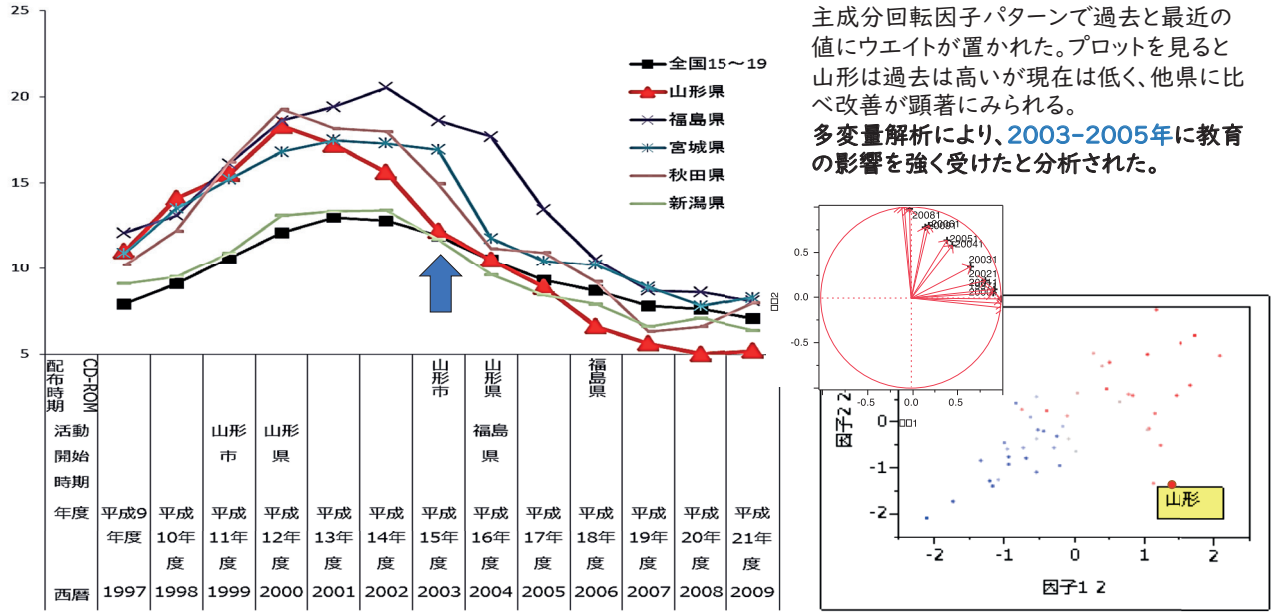
山形県における性教育の効果

山形県では、その後 2005 年には学習指導要領に沿った小・中・高校生向け PowerPoint 教材『生きるための心の教育（性教育）』[(1)] を、山形県教育委員会から『性教育の手引き』とともに全県下に配布し、教育方法の研修会や調査・評価をフィードバック繰り返し、教育を拡大していった。

これらの性教育の普及の結果、山形県内全体の性問題対策の取り組みもあり、15 歳以上 20 歳未満の人工妊娠中絶率（女子人口千人対）は、1998 年 14.1 全国３位、2000 年 18.3 全国 6 位から、2010 年 5.0（全国 45 位）に低下していった（次ページ図２）。この現状は現在も継続しており、山形県教育委員会は「特段の取り組みはなく、性教育することが当たり前になっている」と話してくれた。

2011 年には山形県における『生きるための心の教育（性教育）』教材を用いた教育介入と人工妊娠中絶率および性感染症発生率の低下との関連に係る生態学的研究（過去 10 年間の分析）を行い、結果、主成分分析により他県と比較し、山形県は 15 － 19 歳の人工妊娠中絶率・性器クラミジア感染症患者報告数の低下が顕著にみられ、2003 年（山形市小中学校に教材配布）～ 2005 年 (山形県全県下に配布) に教育の影響を強く受けたことが、多変量解析により分析された。また、山形県内 4 つの二次医療圏別の分析で多くの教師が受講したことにより、その教師が子どもたちへ性

図２　山形県 15 ～ 19 歳の人工中絶率低下と全国比較



教育を実践した地域の、教育普及・性問題予防に効果的であったことが証明されている。

学習指導要領改訂に合わせた新教材「人生を豊かに育む教育」

2006 年に発刊した『生きるための心の教育（性教育）』[(1)] 教材や、小学生用『伝えたい生と性』(紙芝居教材)[(8)] 等が、さまざまな都道府県の教育委員会や学校、児童養護施設等で活用される中、性教育という言葉を使うよりも、「人生の教育」としてより多くの子どもたちに活用されるようにしたほうがよいとの声があがり、さらに学習指導要領を幅広く網羅した「人生を豊かに育む教育」教材 [(2)] の作成に至った。

「人生を豊かに育む教育」教材構成内容

学習指導要領改訂に合わせ、全教科の学習指導要領・解説を読み込み、子どもたちの人生を育んでいく「からだ」、「こころ」、「性」、「生活」、「人生」等をキーワードに、小学１～６年生の各学年の教材を「生命尊重」、「生命の誕生」、「体のしくみ」、「性自認（身体的側面・精神的側面）」、「健康な生活」、「暮らしと性」、「人間関係の形成」、「適切な判断力、態度」、「労働、生き方」、「家庭生活」の項目に分け教科名を記載し、310 枚のスライドとして作成した。

また、中学生用教材は、中学１～３年生の各教材を「いのち」、「家族」、「人生のつながり」、「キャリア教育」、「思春期の体」、「心の発達、男女の違い、情報の選択」、「人間関係の形成」、「生活（衣食住・健康）」、「健康な生活」、「疾病」、「感染症の予防」、「人権、性別違和（性同一性障害）・LGBTQ・SOGI」、「性被害、事件・事故の予防」、「横断的学習」の項目に分け教科名を記載し、約 500 枚とした。

教材の編成

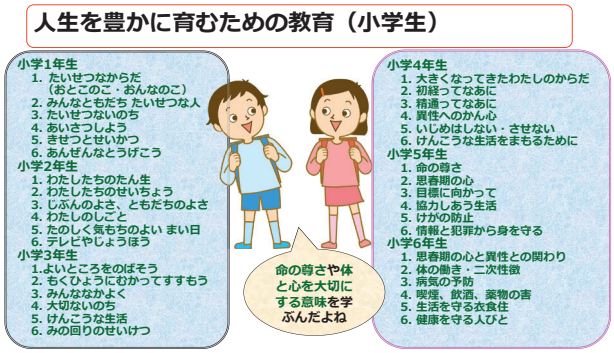
教材内には PowerPoint スライド、学習指導要領抜粋、教材と学習指導要領との照合表、使い方が含まれており、PowerPoint スライドは使用者が自分の言葉に変更・追加することが可能で、ノート部分には、語りかけ・ポイント（学習指導要領の概説）等が記載されている。これらは授業案等に転記したり、イラストを紙面媒体としても使用できるようにした。

照合表は、各学校の学校保健計画に活用できるよう学年・教科毎にも確認できる。保健体育・道徳等だけでなく総合的な学習の時間等、すべての先生方が使用できるよう作成している。

小学・中学・高校生の性教育のつながり

思春期は第二次性徴と共に精神的にも大きな変化が出る 10 ～ 18 歳くらいの時期であり、いじめ、加虐、命の軽視、リストカット、自虐、人工妊娠中絶、性感染症等、さまざまな問題が起こりやすい時期でもある。

図３



性教育は第二次性徴の教育をイメージしやすいが、心の変化も含む思春期教育が性教育として望まれるようになってきている。

小学生の性教育は、性問題予防の根底となる思春期前の自己肯定感を高める観点からも、最も重要な位置にあり、自己肯定感を上げ、命の尊さや体と心を大切にする意味を感じられるよう編成している。

中学生には性のリスクも伝えるが、思春期の心の教育（学習指導要領：保健体育・道徳等）がメインで、「思春期の心理的反応は正常な反応である」と肯定し、ストレスマネージメントを教えていく。心の教育後のアンケートでは、約４%から「死にたかったが、今日死ななくてよいとわかってよかった」、他にも「自分や友達の不安定な気持ちは思春期が原因と知り楽になった」、「クラスの雰囲気が好くなった」等のコミュニケーションに関する感想が多く寄せられる。

高校生の教育にはさまざまな内容が含まれ人生の計画等も立てていくが、青年期の発達課題でもある経済的感覚や、身の回りが整った生活、暴力・暴言等のない安定した精神、性をコントロールする力を身に着けることも含んでいる。これらは、大人としての責任でもあり、次世代の子どもへの虐待を予防することを意識した内容でもある。

おわりに

以上、新学習指導要領と「人生を豊かに育む教育」教材について述べてきた。

新型コロナウィルス感染症の影響下にあって、子どもたちは心と体のバランスを崩したり、親子問題に悩んだりすることが増えているため、本教材を学校・家庭等様々な場で活用できるよう、行政の保健計画に組み込むことを予定している自治体もある。

多くの方に安心して教材を活用していいただくことにより、少しでも子どもたちの人生・将来を守ることにつながればと願うばかりである。今後も皆様とともに、現代の子どもたちを取り巻く様々な問題を考え、子どもたちの人生・未来を支えられるよう活動していきたいと考えている。

【引用・参考文献】
（１）渡會睦子著、松本清一・田能村祐麒監修『生きるための心の教育（性教育）』（小学生向け・中学生向け・高校生向け）日本家族計画協会、2006 年（2016 年に改編）。
https://www.jfpa.or.jp/material/powerpoint/003/
（２）渡會睦子著『人生を豊かに育むための教育（性教育）』（小学校向け）日本家族計画協会、2020 年
https://hsmk.jp/products/detail.php?product_id=2600
（３）品川区教育委員会、（2021 年５月１日）、品川の教育改革「プラン 21」市民科
https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kukyoi/kukyoi-sesaku/kukyoi-sesaku-plan21/kukyoi-sesaku-plan21-zissai/kukyoi-sesaku-plan21-zissai-kyoiku/hpg000032855.
（４）学習指導要領「生きる力」：文部科学省
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm
（５）文部科学省中央教育審議会、平成 17 年７月 27 日「健やかな体を育む教育という観点から，今後，学校教育活動全体で取り組むべき課題について （1）性教育について」
（６）学校保健・安全実務研究会『新訂版 学校保健実務必携』（第一法規）
（７）渡會睦子、山形県における中学・高校生を対象に『生きるための心の教育（性教育）』教材を用いて行った教育介入と人工妊娠中絶率および性感染症発生率の低下との関連に係る生態学的研究、首都大学東京大学院　博士後期課程論文集 2016;1-110.
（８）渡會睦子、（2015）小学生用『伝えたい生と性』（紙芝居教材）、日本家族計画協会
https://hsmk.jp/products/detail.php?product_id=4178

(1)
(2)
(3)
(4)
(8)

いつきの“ヒューマン・ビーイング”
人権について考える ③

土肥いつき
京都の公立高校教員。24 時間一人パレード状態のトランス女性。趣味の交流会運営で右往左往する日々を送っている。

語れる「しんどさ」と語れない「しんどさ」

わたしに転機が訪れたのは、1997 年のことです。当時、同性愛について勉強したいと思い、『同性愛の基礎知識』という本を読んでいました。わたしにとって、女装や「性転換」などの情報は、「変態としての自分の側面」を思い出させるものでした。そのため、わたしは無意識のうちにそうした情報を遠ざけていました。しかし、「女性が好きになる自分は男性」と思っていた当時のわたしにとって、同性愛は自分とは関係ないものでした。本を読み進めるうちに、同性愛者の置かれた状況が、今まで自分が出会ってきた部落出身や在日朝鮮人の生徒の姿と重なっていきました。そんなふうに興味深く読んでいたのですが、あるページをめくると、突然「性自認」という見慣れない言葉とともに、以下のような解説が書かれていました。

トランス・ヴェスタイト：異性装（男装・女装）だけをしたいと思う人たちのこと。
トランス・ジェンダー：自分の生物学的「性」と違う「性」のライフスタイルを、自分に身につけようと思う人たちのこと。
トランス・セクシュアル：性転換をして、自分の生物学的「性」を変えたいと思う人たちのこと。

これらはすべて、わたしにあてはまるものでした。この箇所を読んだ瞬間、「自分は『変態』ではなくトランス・ジェンダーなんだ」と直感しました。と同時に、わたしが「当事者」になった瞬間でもありました。

自分を表現する言葉を獲得したことで、ようやくわたしは「ねじれた思い」の原因がわかり、それと向きあうことができるようになりました。しかし、一方で「当事者」であるとわかった時、わたしは「困ったな」と思いました。

わたしは、日本人の「男性」として被差別部落ではないところに健常者で生まれました。さらに、父親は大学教授で、経済的に困難さを抱えているわけでもありませんでした。つまり、わたしにはマイノリティ性が一切ないのです。わたしはそんな自分のことを「日本の WASP」と表現していました。人権教育にかかわりはじめた頃、わたしは自分のそういう生い立ちに引け目を感じていました。

人権教育をすすめていく上でもっとも大切にしていることのうちのひとつが「自己開示」です。互いに自分のしんどいことを語りあうことで、「しんどいのは自分だけではない」ということに気づき、さらにそのしんどさを社会化していく。「自己開示」はその出発点となります。

ところが、わたしには「しんどいこと」がありません。正確にはあるのですが、それは例えば「アメリカに留学経験がありギリシャ語やヘブライ語を教えている父親には、語学では太刀打ちできない」というしんどさでした。これはこれで、子どもの頃から感じていた、しかもなかなか他の人とは共有できないしんどさではありましたが、同時に「恵まれたしんどさ」であり「しんどさ」にカウントすることができないと思っていました。そんなわたしは、例えば、人権教育の全国大会などのレポートで「A の生い立ちを知った時、自分の生い立ちと重なった。自分の父親もアル中で…」といった導入部があると、反発するようになりました。なぜなら、生まれによって差別されない社会をつくりだしていく人権教育のとりくみが、生まれに依拠するのはおかしいと考えたからです。わたしは「誰にでもできる人権教育」を実践しようと思いました。それは、そんなに難しいものではありませんでした。子どもたちの生活を知り、子どもたちの話をていねいに聞き、それを子どもたちに返すことで子どもたち同士をつなぐ。わたしが主役になるのではなく、子どもたちが主役になる。そんな実践の中で、部落出身や在日コリアンの生徒が、教室の中でクラスメイトに向かって自らのことを語る場面に立ち会うことができました。

このように考え、実践していたわたしは、自分が「当事者」になったことにとまどいました。しかし、「当事者」というラベルは剥がそうと思っても剥がせません。そこで、当事者であることをどのように行使すればいいかを考えるようになりました。

［静岡県立清水特別支援学校］（上）

学びの「見える化」と「つながり」を重視した性教育

発達障害や知的障害のある子どもたちの多くは、人との距離感が上手にとれなかったり、自分の気持ちをうまく表現したりするのが苦手だ。「素敵な大人になろう」を合言葉に、特別支援学校の児童生徒の性教育を 20 年以上続けている、前清水特別支援学校高等部（令和 3 年 3 月まで在籍）の國分聡子教諭にお話を伺った。

「学びの見える化」に注力する

静岡県立清水特別支援学校は小学部、中等部、高等部があり、児童・生徒数は 256 名。最重度から軽度までの知的・発達障害の児童・生徒が学んでいる。

高等部の國分聡子教諭は、小学部、中学部、高等部の計 12 年間、それぞれの学年で障害や発達に応じた性教育の指導内容をつくっている。

小学部では体を清潔にする気持ちよさや口と水着で隠れるプライベートゾーンは人に見せたり触らせたりしないことを中心に、中学部では体の仕組みや変化、月経などについて、高等部では性器の名称や働き、妊娠の仕組みを中心に指導していく。

性教育の授業を実践するにあたって國分教諭が大事にしていることが２つある。「学びの見える化」と「学びのつながり――ストーリー性」である。

「学びの見える化」について、國分教諭は「言葉はその場で消えてしまうが視覚化したものは手元に残る。性教育を進めていくうえで、重要になるのが教材教具の活用だ」と語る。教材教具を活用すれば、正しい情報が子どもたちの頭にダイレクトに入ってくる。「わかること」が増えれば、不安が軽減し「できること」が増えることにつながるという。

誰でも簡単につくれる教材を開発

体の仕組みを学ぶときにもっともわかりやすいのが、性器の教材だ。

「性教育の指導は、二次性徴から教えることが多いようですが、私はもともと男女は一緒だったことを伝えたいので、一次性徴から教えます」と國分教諭。

静岡県立清水特別支援学校
学校長　成岡裕司
児童・生徒数　256 人
教員数　106 名
（2021 年 3 月現在）

さらに「女性の場合、外性器は鏡を使わないと自分で見ることができません。そのため、外性器の構造がわからない。高校生になっても、膣と尿道口が同じものだと思っている生徒がとても多いのです」。

性器の仕組みや名称は、紙に描かれた図などで学ぶことができるが、知識と実際がつながらず、なかなか頭に入ってこないという。教材用に性器の模型が市販されているが１点数万円するなど高価である。

そこで、國分教諭は手づくりの性器の教材を活用し、性器の名称や働き、妊娠の仕組みを目で見て、手で触らせて学ばせていく。

性器を模した教材は、最初は布を縫い合わせてつくったそうだ。國分教諭が研修会や講習会で手づくり教材を紹介すると、参加者から「忙しくてつくる時間がない」、「そもそも裁縫が苦手なので、ハードルが高い」という声もあったそうだ。

そこで裁縫をせずに、布を張るだけの男性性器を製作した。また、100 円ショップで購入できるグッズにも着目。色粘土やキッチンボトル、ソックス、ボールなどを使って簡単につくれる女性器、男性器の教材も開発した。なるほど、これなら裁縫が苦手だったり不器用を自認する教員も教材をつくれそうだ。

ただし、性器の教材が大き過ぎると、生徒たちには逆に分かりづらく、自分事としてとらえられないという。もう少し、自分事としてとらえられる教材はつく

れないか……そこで次は折り紙など紙を使って製作し実物大に近い教材を開発した。

國分教諭は「教材をわざわざ購入しなくても自分の身の回りのものでも製作できる。どこに行っても、何を見ても、ついこれ教材に使えないだろうか、と考えてしまうんです」と笑う。

立体性がある性器の教材は、目で見て触れて学ぶことができる。性器の拭き方や洗い方を指導できる利点も大きいと語る。

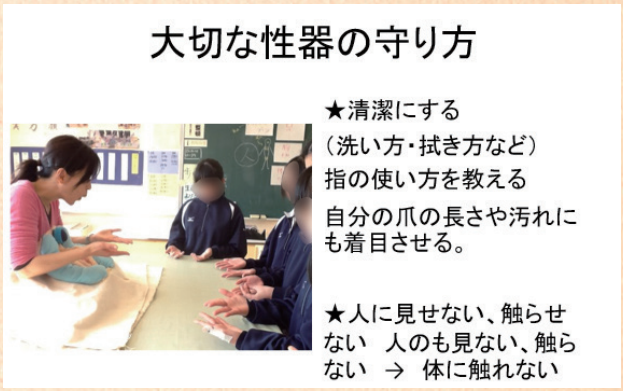
自立の一歩、徹底的に自分の性器と向き合う

高等部１年次には、性器の各部位と名称のほかに、「プライベートゾーンの約束」についてもきちんと指導する。

授業では、「プライベートゾーンはとくに意識してきれいにしよう」、「体はどこも全部大事だけれど、プライベートゾーンは自分でしっかり守らないといけない」ことを生徒たちに伝える。

「でもなぜ、プライベートゾーンを清潔にして守らなければならないんだろう？」そんな生徒の疑問に、國分教諭は「それはね、皮膚と粘膜の違いがあるから」と答える。そこで、國分教諭がとりだすのが、フェルトと合皮の教材だ。

「顔や腕や皮膚はね」といって、合皮の教材に水をパシャパシャッとかけて見せる。



（写真は、すべて國分聡子教諭の講義用資料より）

「ほら、水をはじいているでしょう？　水をはじくのは皮膚。では、こちらはどうなるか見ていて」と今度はフェルトの教材に水をかける。すると、フェルトに水が滲みこみ、ポタンポタンと水滴が落ちていく。

生徒たちに水が滲みこんだフェルトに触らせながら、「どうなってる？」とたずねると「水が中に入っていったよ」と子どもたち。

「そう。口の中とか性器は、粘膜といって、こんなふうに滲みこむ性質がある。だから、毎日きれいに洗おう。今、感染症が話題になっているけれど、粘膜を通じてバイ菌も体の中に入っていくんだよ」

科学の実験のような授業は、子どもたちの好奇心をかきたてる。座学では入りにくい内容も、すっと頭に入っていくようだ。

「皮膚と粘膜の違い」を学ぶことで、２年次で学ぶ性感染症の予防についても理解が深まる。「学びのつながり」も意識しながら授業を進めていくという。

「性器などの知識については、性教育に占める割合は２～３割。残りはマナーとコミュニケーションに関する学びだと考えています」と語る國分教諭。

次回は、マナーとコミュニケーションをテーマにしたユニークな授業を紹介する。

（取材・文　エム・シー・プレス　中出三重）

多様な性のゆくえ

One side／No side［50］

宮田 一雄
みやた　かずお
ジャーナリスト。公益財団法人エイズ予防財団理事、特定非営利活動法人エイズ＆ソサエティ研究会議事務局長。

「正しさ」は変わる

東京・上野の東京国立博物館では、４月 13 日から『国宝 鳥獣戯画の全て』という特別展が開かれていた。テレビや雑誌でにわかに鳥獣戯画の特集が増えたのはそのためだろう。

時期的に新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の感染拡大期が重なっただけのことで、鳥獣戯画に関りがあったわけではないのだが、小池百合子都知事は特別展が始まったとたんに『東京には来ないでください』と記者会見で語っている。神奈川県鎌倉市在住の私などは「誰が行くか」と思っていたら、緊急事態宣言のため東京国立博物館も臨時休館になってしまった。

それにしても、４月の鎌倉は東京の車が目についた。18 日には鎌倉市議選が告示され、杉並ナンバーの選挙カーまで走っていたほどだ。もちろん発言の真意はほかにあったのだろうが、「東京に来るなだなんて何を言いだすのか」……おっと話が脱線、もとに戻そう。

鳥獣戯画は京都・高山寺蔵の国宝絵巻で、作者は？と問われれば、団塊の受験世代は即座に「鳥羽僧正」と答える。ただし、テレビのクイズ番組なら残念ながら結果はピンポ～ンではなく、ブ～になる。その後の研究で鳥羽僧正説は退けられ作者は謎だという。

鳥獣戯画は全４巻で、蛙と兎が相撲を取ったり、猿を追いかけまわしたりするのはこのうち第１巻であることも、他の３巻に何が描かれているのかも知らず、そもそも鳥羽僧正が何者なのかということさえ知らないのに、半世紀以上も前の高校時代から「作者は鳥羽僧正」と信じて疑わなかった。それが間違いだなんて、おじさんは人生から大きな損失を受けた気分になる。正しい知識などあてにならない……とまでは断言できないが、あてにならないこともしばしばある。もう一つ、日本史のかつての「常識」をあげておくと、「いい国つくろう鎌倉幕府」の成立も 1192 年説はもはや有力ではないという。では、いつなのか。関心がある方は「いい国つくろう」で検索してください。

「正しい知識が大切です」ということは HIV／エイズ対策や性感染症の予防対策でお題目のように繰り返されてきた。だが、何が「正しい知識」なのかということ自体には、あらかじめ正解が用意されているわけではない。ときどき疑ってみることも大切ではないか。とくにエイズに関しては、20 世紀後半に急速に世界に広がった新興感染症であり、同時に性行為とも深くかかわる病気でもあるので、「正しさ」をめぐる議論は大きく揺れ動いてきた。

治療の面で言えば、1996 年ごろから複数の治療薬を組み合わせた抗レトロウイルス治療の高い延命効果が期待できるようになったが、その治療も当初はできるだけ開始を遅くした方がいいと言われていた。だがいまは、感染が判明したら、早く治療を開始すべきだという考え方に変わっている。

また、性をめぐる行動に関してもメッセージの変遷は激しい。流行の初期には、HIV に感染した人はセックスをすべきではないという主張が、社会的にまかり通っていた時期もあった。それが次第にコンドーム使用の普及を軸にした Safer Sex（より安全な性行為）への支持が大きくなっていった。さらに最近は治療の普及と継続により感染した人の体内のウイルス量の抑制を目指す Treatment as Prevention（TasP、予防としての治療）に対策の重点が移っている。

HIV に感染している人の 90% が検査で自分の感染を知り、その 90% が治療を受け、さらにその 90% が治療の継続で体内のウイルス量を検出限界値未満に抑えれば流行は終息に向かうとする 90-90-90 ターゲットも TasP の発想に基づくものであり、2020 年のターゲット達成を目指し世界各国はかなり健闘した。それでも、目標には届いていない。

国連はいま、90-90-90 に代わり、2025 年に向けた新たなターゲットを打ち出している。90% といった数値目標も重要だが、その実現を阻むジェンダーの不平等など、社会、経済、政治、文化的な要因にもっと目を向ける必要がある。そんな考え方に基づいているのが特徴だ。新ターゲットについてはもう少し情報の収集と整理を進め、時期をみて改めて取り上げたい。

BOOK GUIDE
今月のブックガイド

「自分らしさ」と日本語

中村桃子著
筑摩書房
定価 946 円（税込）

日本語の特有性を分析

「そもそも、いつごろから、日本語の自称詞は男女で異なるようになったのだろうか。それは、私たちが使っている近代日本語、いわゆる、「国語」と呼ばれているものがつくられた明治時代だと考えられる」。

え⁉ そうなんだ！ そう言えば昔、田舎のお婆さんが男と同様「オレ」と自称していた記憶がある！

著者は、明治期、男尊女卑のイデオロギーを背景にした「国語」が確立する過程で、「男性向けしかない自称詞の中から、男性と強く結び付いている『ぼく・自分』などを除いた「わたくし・わたし」が、次第に男女両方の自称詞とみなされるようになっていった」と推測する。

言葉は身体化されているから、私たちは改めてそれ自体について考えることはあまりない。本書の醍醐味は、その自明性を引き剥がしたところにあるものを露わにしてくれる点だ。例えば、日本には名前はその人そのものであるという「名実一体観」がある。それは、「すでに古代から神々、ミカド、天皇の名を書いたり口に出すことを避ける『実名敬避』の伝統（略）現代でも、目上の人を名前で呼ぶことを避けるという形で残っている。会社では、下の人は上の人を名前ではなく職名で呼ぶが、上の人は下の人を名前で呼ぶ」

私たちはそれを当然のごとく実践してきたけれど、言われてみれば不思議なことでもある。なぜ日本人は、アメリカ人みたいに親しくなれば上司もファーストネームで呼んだりしないのか。

他にも本書には目から鱗の指摘がたくさんある。『風と共に去りぬ』や『アンクル・トムの小屋』などに登場する黒人の登場人物の日本語訳の言葉遣いが、東北弁の特徴に似たものが多く、それによってむしろ日本の東北弁のステレオタイプがつくられている、という。黒人奴隷と東北弁を話す人たちとは関係がないはずなのに、いったいどうして⁉

著者は一貫して、自分自身のアイデンティティを表現する機能としての言語を考察している。ベースにあるのは、言葉は私たちの「本質」を表現するものではなく、反対に、言葉を反復的に使用することで、私たちの中に何か「本質」のようなものがあるに思えるようになる、という考え方。哲学者のジュディス・バトラーくんのパフォーマティヴィティの理論である（バトラーくんと君呼びしたのは、偉い学者を呼び捨て表記にすることで、無用に対象を権威化することへの批判的実践である。クソ冗談）。

本書の分析はとても刺激的である一方、私自身は著者と解釈を異にする点も少なくない。第３章で、子供時代から自称詞の問題を抱えていた男性同性愛者の例が取り上げられていた。私自身も、幼少期は自分の名前や「あたし」を主語にしていて、それが許されない思春期になると、主語を話すのを回避することを余儀なくされた体験を経ている。その過程を繊細に振り返ると、男性的なジェンダーのありように対する「気質的」な違和感がきわめて幼い時からあったと記憶している。それは「本質」とまでは言わないまでも、けっして反復の結果ではなく、当初からあったと実感する。

あるいは、先の黒人奴隷の口語訳に関して、著者は、「教養のない田舎者が話すことば」というステレオタイプを黒人にも東北人にも強化してしまうと否定的にとらえている。が、私は反対の評価を持つ。明治維新の際、佐幕派が多かった東北地方は近代化に乗り遅れ、貧困に窮した。その不遇な境遇に、黒人奴隷と共通する苦境を見出した近代の翻訳者たちの、文学的な想像力を称揚するからである。

私との解釈の相違はともかく、本書が私たちに言葉に埋め込まれた歴史や、ジェンダーの仕掛けを教えてくれることは、間違いない。　　（作家　伏見憲明）

研究会、研修会等の情報を下記まで、郵送または、
メール（info_jase@faje.or.jp）でお寄せください。
〒112-0002　文京区小石川2-3-23春日尚学ビルB1
日本性教育協会「JASE ジャーナル」係

►► 第12回 日本子ども虐待医学会学術集会 ◄◄

学術集会テーマ「足りないピースを探しに行こう！」(ハイブリッド学術集会)

※学術集会のコンテンツの一部は、学術集会終了後に一定期間オンデマンドでも配信予定。

日　　時　１日目（会場集合形式）７月３日（土）8:50～、会場：京都テルサ
　　２日目（web 形式）　７月４日（日）9:00～

内　　容　教育講演１：身近な子ども虐待と行動異常～発達障害と勘違いされる子ども　横山 浩之（福島県立医科大学）
　　教育講演２：子ども虐待の死亡事例検証と Child Death Review　奥山 眞紀子（社会福祉法人 子どもの虐待防止センター 理事）沼口 敦（名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部）
　　シンポジウム：「体罰や暴言等の防止」を考える　ほか

参加登録　インターネットからのオンライン登録のみ

詳しくは　http://web.apollon.nta.co.jp/jamscan2020/index.html

SEE Sexuality Education and Empowerment

主催　SEE性教育アカデミー
協賛　日本性教育協会（JASE）

1ヶ月間見放題　3000円
全編（80分）日本語字幕つき

サンプル動画 無料配信中

SEE ホームページ

SEE性教育アカデミー2021 Webinar
Attitudes Toward Sexuality Education and Values in Sexuality Education

世界の〈学校〉性教育
それぞれの国における現状と課題・乗り越え方

性教育を特集した報道・記事が急増しています。「おうち性教育」という言葉とともに聞こえてくるのは、「日本は性教育後進国」「肝心なところはAV任せ」「学校教育には期待できない」といった批判の声。では、諸外国の現状はどうなっているのでしょうか？

インタビュー形式で録画編集した動画６本と特別編1本で構成されています（80分）。ゲストは、ユネスコ編『国際性教育テクニカルガイダンス』の策定メンバーや、「セクシュアル・プレジャー」概念を定義したGABの諮問委員、性に関わる専門職認定の必須要件とされるSAR（性に対する価値や態度の自己再評価）研修の指導者など、性教育の経験豊かな6名。各国の現状と課題に加えて、性教育の価値、性教育に対する態度、実践家の研修プログラムなどの話題、さらには〈性の健康〉と〈性の権利〉をつなぐ…重要なのに、忘れ去られてきた…リンク〈セクシュアル・プレジャー〉についての解説もあります。日本語字幕つきで、1か月見放題。

★ゲスト・スピーカー

Dr. Charlotta Löfgren-Mårtenson（スウェーデン／マルメ大学教授／社会福祉・性科学）
「最近、大きく変化した学校性教育のありようとその理由」
Dr. Tommi Paalanen（フィンランド／セクスポ財団代表／哲学・性科学）
「研修は(800時間以上の性教育実習を含め)１年間」
Dr. Sara Nasserzadeh（米国／AASECT認定セックス・セラピスト／社会心理学）
「専門職の認定にはSARの受講が必須条件」
Dr. Jacqui Hendriks（オーストラリア／カーティン大学講師／性科学）
「性科学で修士号・博士号が取得できる大学における教育」
Dr. Wenli Liu（刘文利）（中国／北京師範大学教授／性教育）
「中国における包括的セクシュアリティ教育の推進」
Antón Castellanos Usigli（国際的組織GAB諮問委員／公衆衛生学）
「セクシュアル・プレジャーは性の健康と権利をつなぐリンク」

★動画（Webinar）の視聴方法

1. ①お名前、②ご所属、③連絡先を事務局（kansaishy@gmail.com）まで
2. 事務局から連絡の口座に視聴料3000円を振込（Paypalもご利用可）
（複数で視聴される場合は、人数分の振込みが必要）
3. 入金確認後、動画視聴用のURLを通知

１ヶ月間、繰り返し視聴できる。

すぐ授業に使える

性教育実践資料集

中学校改訂版

〈主な内容〉

第１章　中学校における性教育（性教育を実践するにあたって／性教育の目的と意義）

第２章　性教育の実践（性教育の現状と実践の課題／学習指導要領における性教育の取り扱い／性教育の指導体制／指導計画の作成／性教育実施上の留意点／家庭・地域との連携／中学校の性教育の今後に向けて）

第３章　指導事例（各学年における指導計画と指導の流れ／８つの１年生の指導事例／６つの２年生の指導事例／６つの３年生の指導事例／７つの個別指導事例／５つの組織の指導事例）

第４章　参考資料（性行動経験率／性的なことへの関心割合／自慰経験率／性的関心の経験割合の推移／性へのイメージ／性感染症報告数の推移／梅毒患者報告数の推移／ HIV・エイズ感染者の動向／人工妊娠中絶実施率及び推移／用語解説）

定価 2,200 円（税込）　B5 判・224 ページ

「若者の性」白書

第8回　青少年の性行動全国調査報告

〈主な内容〉

序　章　第８回「青少年の性行動全国調査」の概要

第１章　変化する性行動の発達プロセスと青少年層の分極化

第２章　青少年の性規範・性意識からみる分極化現象

第３章　家庭環境や親子のかかわりの違いは青少年の性行動に影響を与えるか

第４章　知識・態度・行動の観点からみた性教育の現状と今後の課題

第５章　青少年の性行動と所属集団の性行動規範

第６章　青少年の避妊行動の実態と包括的性教育の可能性

第７章　性的被害と親密性からの／への逃避

第８章　青少年の性についての悩み
～自由記述欄への回答からみえるもの～

定価 2,420 円（税込）Ａ５判・256 ページ

編／一般財団法人日本児童教育振興財団内　日本性教育協会　　発行／小学館

全国の書店にて、ご購入いただけます！